

八戸市民で、妊婦の方へ

令和8年4月1日から開始します

RSウイルス母子免疫ワクチン 定期接種のお知らせ



八戸市では、令和8年4月1日から妊婦を対象としたRSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種を実施します。

RSウイルス感染症について

- ・RSウイルスの感染による急性の呼吸器感染症で、乳幼児に多い感染症です。
- ・何度も感染を繰り返しますが、初回感染時には、より重症化しやすいといわれており、特に生後6か月以内に感染した場合には、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。
- ・生後1歳までに 50%以上が、2歳までにほぼ 100%の乳幼児が1度は感染するとされています。

RSウイルス母子免疫ワクチンとは

妊婦さんに接種することで、母体内で作られた抗体が、胎盤を通じて赤ちゃんに届けられ、新生児から乳児における RS ウイルスを原因とする下気道疾患(細気管支炎や肺炎)を防ぐことができるワクチンです。生後 6 か月までの有効性が検証されています。

定期接種概要

対象者	八戸市民で、接種日において妊娠 28 週0日から 36 週6日の妊婦
使用ワクチン	組換えRSウイルスワクチン(アブリスボ筋注用)
接種回数	妊娠ごとに1回接種できます
接種場所	受託医療機関(裏面に記載)
接種料金	無料(※対象の妊娠週数から外れた場合は全額自己負担となります)
持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中の赤ちゃんの母子健康手帳 ・本人確認書類(マイナンバーカードなど) <p>※予診票は受託医療機関に設置しているものをご使用ください</p>

その他、詳細(市外での接種を希望する場合など)については、
八戸市ホームページに掲載しています。

最新の受託医療機関情報についても随時、更新予定です。

「RSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種について」(八戸市ホームページ)➡

